

ひぜんこくぶんじょうと
備前国分寺跡
ひょうくわんこふん
尚宮山古墳

史跡だより

第17号

特集 山陽団地遺跡発掘 50周年を終えて

令和元年は山陽団地の開発に伴う遺跡発掘から、50周年の節目の年でした。この発掘では、弥生時代の大規模集落やおびただしい量の副葬品を伴う古墳などが多数調査され、考古学史的にも赤磐市の歴史を考える上でも非常に重要な成果を残しました。このことを知っていただけるよう、山陽団地内の遺跡を紹介する様々な企画を行いました。



◆史跡シンポジウム 2000年前の吉備～なぜ弥生人は丘の上に住んだのか～

日時：令和元年8月24日 場所：中央公民館大集会室

山陽団地で発掘された弥生時代の集落遺跡にスポットを当て、弥生時代研究の第一線で活躍されている先生方を迎え、講演・パネルディスカッションを行いました。立地や出土品・気候変動との関連など、幅広い視点から弥生時代の集落の動向や山陽団地内の遺跡の位置付けについてお話しいただきました。当日は市内外から250名の方にご参加いただき、発掘調査から50年経った現在も考古学的に重要な資料として活用されている山陽団地内の遺跡について知っていただく機会となりました。

◆企画展 丘の上の遺跡群～山陽団地発掘50周年～

日時：令和元年10月11日～12月8日

場所：赤磐市山陽郷土資料館

山陽団地で出土した考古資料や当時の写真などを展示し、発掘で明らかとなった山陽団地内の遺跡の全体像を紹介しました。



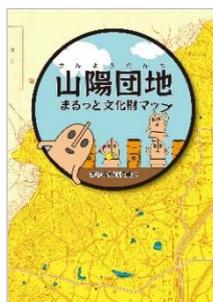
◆山陽団地ウォーキング

日時：令和元年 10 月 13 日

岩田 14 号墳・野山古墳群など、山陽団地内に保存されている遺跡をめぐるしました。



山陽団地文化財マップ 配布中！



50 周年に先駆けて、昨年度刊行しました。地元小学生のイラストとともに山陽団地内の遺跡の場所や情報を掲載しており、遺跡めぐりに便利な 1 冊です！山陽郷土資料館窓口にて無料配布中です。

* A 2 両面カラー

こうした企画を通じて、多くの方に山陽団地内の遺跡の重要性を知っていただき、郷土の歴史について改めて考えるきっかけにもなったようです。50 周年の企画はこれで一区切りですが、引き続き山陽郷土資料館の常設展や山陽団地内に保存されている遺跡で発掘成果の一端に触れることができますので、今後もぜひ足をお運びください。

日本遺産認定 両宮山古墳 最近の活動



あかいわ祭りでの日本遺産紹介ブース



両宮山古墳のウォーキングイベント

平成 30 年に、“「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま～古代吉備の遺産が誘う鬼退治の物語～”のストーリーが日本遺産に認定され、構成文化財のひとつである両宮山古墳への注目度もますます高まっています。これを受けて、両宮山古墳を紹介するイベントや現地見学路の整備などを行い、両宮山古墳と周辺の主要遺跡をまとめたパンフレット『日本遺産 赤磐市』も刊行しました。今後も両宮山古墳・備前国分寺跡の両史跡を中心に幅広い活用を進め、情報発信していきますので、どうぞご期待ください。

新刊案内



パンフレット 日本遺産 赤磐市

日本遺産認定を記念して、両宮山古墳を中心とした紹介パンフレットを刊行しました。認定された日本遺産の概要、両宮山古墳と関連遺跡の基本情報や周辺マップなどを掲載した入門的な 1 冊です。山陽郷土資料館窓口にて無料配布中です。

* A 4 判、三つ折カラー

両宮山古墳墳丘裾保存整備工事

の開始について(令和元年 11 月～)平成 29 年度より実施している、両宮池の波浪による墳丘裾の浸食・崩落対策を今年度も 11～3 月の期間で行う予定です。工事車両の通行やため池の開栓など、近隣のみなさまにはご迷惑をおかけしておりますが、どうぞご協力をお願いします。

赤磐市教育委員会 令和 2 年 1 月 10 日発行

〒709-0816 岡山県赤磐市下市 337 番地

TEL 086-955-0710

URL <http://www.city.akaiwa.lg.jp/bunkazai/index.html>